

5.9 景観

5.9 景観

5.9.1 工事の完了後

(1) 調査事項

調査事項は、表 5.9-1に示すとおりとする。

表 5.9-1 調査事項

区分	調査事項		
予測した事項	主要な景観構成要素の 改変の程度及び 地域景観の特性の 変化の程度	代表的な眺望地点からの 眺望の変化の程度	圧迫感の 変化の程度
予測条件の状況	・計画建築物等の立地状況等（位置、高さ、形状等及び周辺建築物の状況）		
環境保全のための措置 の実施状況	・建築物等の外観意匠については、江戸川区景観計画に定める景観形成基準に基づいた周辺環境と調和したデザインとする。 ・浸水対策のため敷地地盤は1.6mかさ上げするが、計画する工場棟の高さ（26.4m）は既存の工場棟の高さ（28.0m）より低く抑えることで量感を軽減する。 ・煙突（外筒）については既存煙突と同じ高さとするため変化はほとんどなく、周辺環境と調和したデザインとする。 ・計画施設は壁面緑化や工場周辺に高木等を設置する等、可能な限り緑化を図る。		

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺地域とする。

(3) 調査方法

調査方法は、表 5.9-2に示すとおりとする。

表 5.9-2 調査方法

調査事項	主要な景観構成要素の改 変の程度及び 地域景観の特性の 変化の程度	代表的な眺望地点からの 眺望の変化の程度	圧迫感の 変化の程度	
調査時点	計画建築物等の工事が完了した時点とする。			
調査期間	予測した事項	工事の完了後の随時とする。		
	予測条件の状況	工事の完了後の代表的な1日とする。		
	環境保全のための 措置の実施状況	工事の完了後の代表的な1日とする。		
調査地点	予測した事項	図 5.9-1 に示す、計画地を 中心とした半径 500m 圏 (近景域) 及び半径 1,500 m 圏 (中景域) とする。	図 5.9-1 に示す 8 地点とす る。	図 5.9-2 に示す 4 地点とする。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺地域とする。		
	環境保全のための 措置の実施状況	計画地内とする。		
調査方法	予測した事項	現地調査 (写真撮影等) 及び関連資料の整理による方法とする。		
	予測条件の状況	現地調査及び関連資料の整理による方法とする。		
	環境保全のための 措置の実施状況	現地調査 (写真撮影等) 及び関連資料の整理による方法とする。		

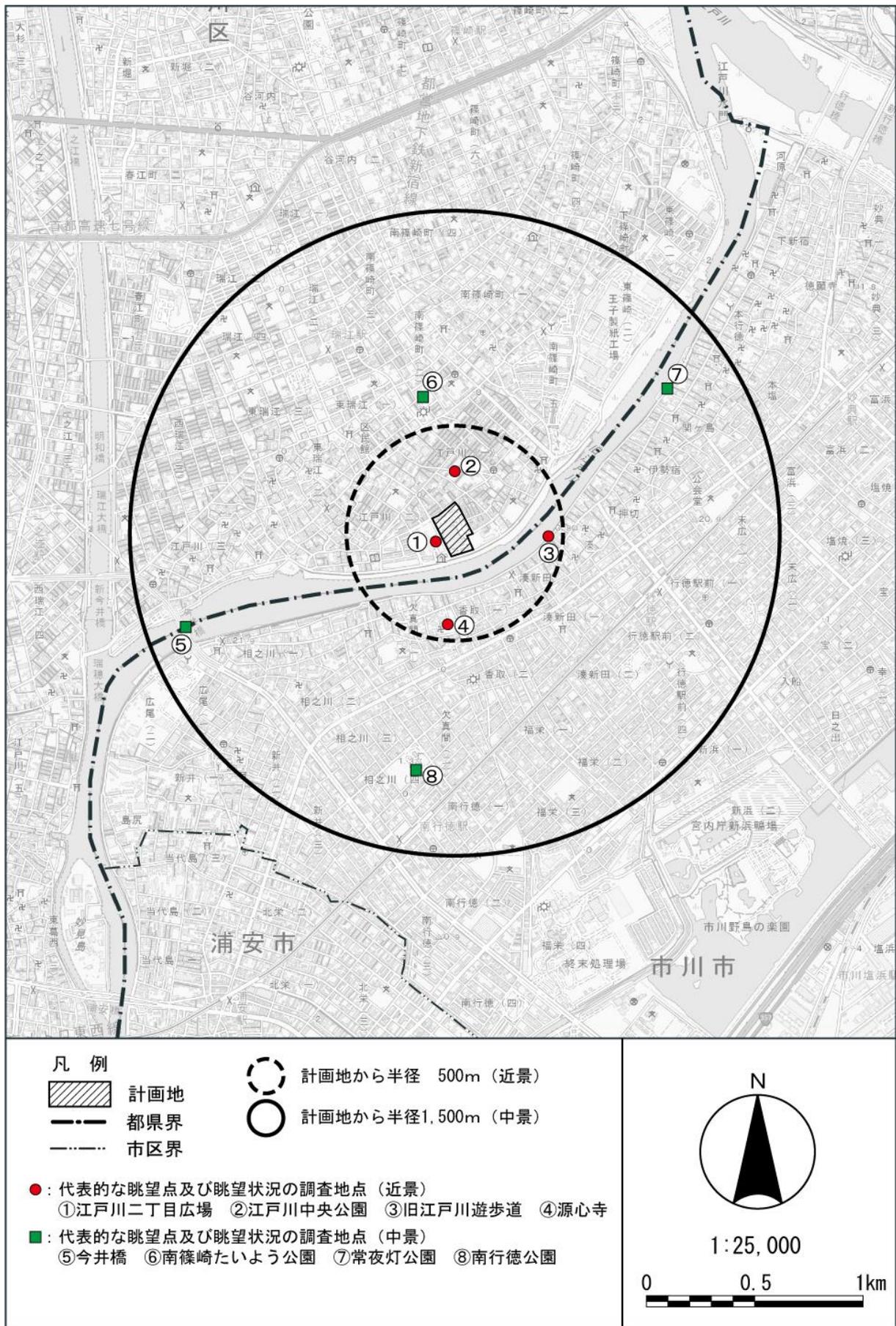


図 5.9-1 景観調査地点

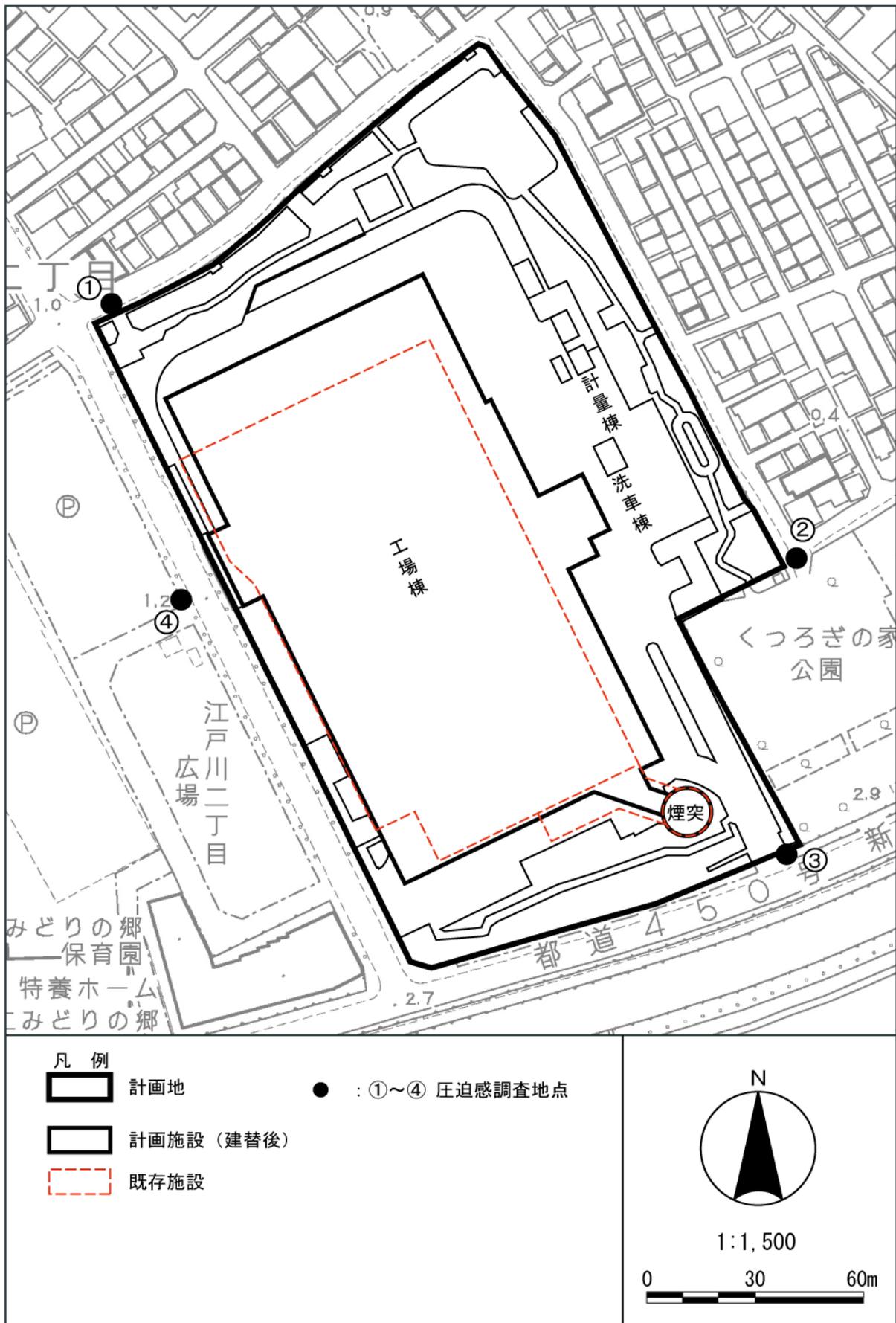


図 5.9-2 圧迫感調査地点